

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
評価は、原価法とする。なお、現在有価証券は保有せず、残高なし。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品、仕掛品等の棚卸資産は保有しない。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
現在基本金以外の固定資産はなく、従って減価償却もない。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 千円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 譲渡性預金	600,000	0	0	600,000
合 計	600,000	0	0	600,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位 千円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産 譲渡性預金	600,000	0	600,000	0
合 計	600,000	0	600,000	0

- 4 借入金はなし。担保に供している資産はなし。
- 5 固定資産の取得価額。減価償却累計額
取得価額を評価したり、減価償却する固定資産の保有していない。
- 6 債券の債券金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債券の当期末残高
債券の保有はない
- 7 保証債務等の偶発債務
保証債務なし。
- 8 指定正味財産の保有及び振替はない。

以 上

(改正会計基準様式)

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金・未収金・未払金及び有価証券を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	1,360,216	1,444,622
未収金	0	0
有価証券	0	0
合計	1,360,216	1,444,622
未払金	0	0
合計	0	0
次期繰越収支差額	1,360,216	1,444,622

(改正会計基準様式)